

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

フラ輪ープロジェクト <花でつながる地域の輪>

～能登川中学校生徒会 美化活動～

5/17
mon

JR 能登川駅東口
能登川南小学校 6年生
18名がベゴニアを
植えました。



6/9
wed

JR 能登川駅西口
能登川中学校生25名が
ポーチュラカを
植えました。



■協力：(一社)能登川地区まちづくり協議会 環境事業部・地元有志・東近江市能登川支所

6/13
SUN
9:30~

外来魚駆除釣り大会 —伊庭の生態系を守ろう—

琵琶湖固有の生き物や環境保全を目的に毎年実施しています。

小雨の中、生態系を脅かすブラックバスやブルーギルを釣り上げました。

釣果はリリースせず能登川漁業組合が回収しました。

さとうみ
■伊庭の里湖づくり協議会



写真募集!



本紙を飾っていただく「能登川の風景」の写真を募集します。

お名前・ご住所・連絡先・作品名とともに

メールアドレス: notomatikyo@e-omi.ne.jp へお送りください。

発行日：令和3年8月1日

発行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793 (平日のみ) FAX: 0748-42-1556

E-mail: notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

NO. 86

防災・減災あれこれ

私の住まいは蘆山の麓の安楽寺です。自治会の名前は中腹にある天台宗の安楽寺という寺院に由来しています。東側に蘆山がありますので口の悪い人は「能登川の半日村」とからかいます。確かに朝日が当たるのは1時間から2時間遅いですが、春はうぐいすの声を、また卯の花の咲く頃にはホトトギスの声を楽しむことができます。20年ほど前からは猪も見かけるようになった自然豊かな所です。しかし、市のハザードマップによると土砂災害の危険地帯になっています。



平成24年に滋賀県の事業で竹林を伐採してもらいましたところ麓からお寺まで坊跡の石垣が何段も残っているのがはっきりしました。信長に焼き討ちされたのが天正4年(1576)の4月ですのでその後土砂災害は起こっていない証と思われる。お寺の北側は坂下しの山になります。これも800有余年の歴史のなかで崩れたという記録もないようです。

ただ悩ましいのは400年あるいは800年ほど土砂災害が起こっていないことが今後も起こらないという保証にはならないということです。特に近年はかつて経験したこ

とのない災害が各地で起こっていますので尚更です。(本文執筆中に、熱海市伊豆山地区で痛ましい土石流被害が発生しました。)

6月は土砂災害防止月間なのでTVでも身を守る方法など様々報道されました。前兆として斜面から水が湧き出る・地鳴りがする・地面にひび割れが出来る等々説明がされていますが、家の中にいたら確認できませんし、経験をしたことのない事ばかりで避難の見極めにする自信はありません。市の地域防災計画によると「土砂災害警戒区域内にある自治会に対しては、土砂災害警戒情報及び雨量等の情報を自治会長等へ伝達し、地域住民の迅速な避難を確保する。」とあります。この一文で納得するところもありますが、それでもどうすれば良いのか悩んでしまいます。

東近江市能登川支所には雨量計が有るようですが、蘆山に限らず土砂災害の危険地域にも雨量計が設置されることを望みます。

■能登川地区防災・減災連絡会
山本均

6/21
MON
9:00~

栗見プロジェクト 琵琶湖岸復活大作戦

湖岸景観の美化と自然環境の保全を目指し、湖辺を市民共有の宝とすべく、雑草の除去と湖岸に漂着した流木・ごみの除去を行いました。

参加者は、検温・アルコール消毒をし、マスク・軍手を着用、距離をとる等、万全の注意を払いながらの作業でした。

- 場所：栗見出在家町地先
- 主催：栗見プロジェクト 東近江市
- 協力：栗見出在家町自治会・栗見新田町自治会
(一社)能登川地区まちづくり協議会



作業前



作業後

6/12
SAT

〈能登川病院情報〉 玄関ロータリーの花苗を植替え

美化チーム15名が、市から提供を受けた花苗320株を植替えしました。

植栽・美化チーム ボランティア募集

毎月第1・2・3土曜、第4木曜の午前9時から1時間程度の作業です。(雨天中止)

緑のキャップとベストを着用して作業しております。

■お問い合わせ
(一社)能登川地区まちづくり協議会
Tel.050-5802-2793(平日のみ)

■能登川病院をよくする会



5月29日(土)、令和3年度定時総会(能登川コミュニティセンター)を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も書面議決で行いました。

令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度事業計画(案)・予算(案)、役員改選(案)の各議案は全て承認されました。

主な内容は次の通りです。



令和2年度 事業報告 (抜粋)

まちづくり部門…コロナ禍中のため、制約された活動になりました。

- 5月に予定した「まちづくり委員研修会」はコロナ禍のため中止し、関係資料の送付を行いました。(当協議会の活動紹介・まちづくり計画・まちづくり委員の役割等)
- 自治会活動に関するアンケート調査を実施しました。(自治会運営方法・コロナ禍中の対応等)この集計結果を9月に報告会&ワークショップとして行いました。
- 11月に「音楽鑑賞会 びわ湖ホール声楽アンサンブル」公演で地区の4小学校6年生を2回に分けて招待しました。一般の方がたの参加は見合わせました。
- 自治会との意見交換会「まちづくりカフェ」を開催し自治会との連携強化を図りました。
- 防災活動関係は、8月「愛知川洪水マップ更新に伴う説明会」、「自治会防災ヒアリング」と「自治会防災力チェックシート」回収・「防災出前講座」等を開催しました。
- 「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」の活動を企画支援しました。
- 環境活動では駅前を花で飾る、能登川中学校・能登川南小学校の「フラ輪プロジェクト」を支援しました。また、「栗見プロジェクト」として、栗見新田町及び栗見出在家町自治会と共に琵琶湖岸の美化と環境保全活動を行いました。その他、廃食油の回収や、段ボールコンポストの普及に取り組みました。
- 子育て支援、子ども食堂、高齢者の居場所づくり「おしゃべりカフェすまいる」、「婚活事業」、「能登川病院をよくする会」等の健康福祉事業も工夫を凝らして行いました。
- 猪子山古墳群や里山整備の「猪子山森林再生プロジェクト」も猪子町自治会、南小学校、八日市南高等学校の参画で継続実施しました。
- 施設運営面では指定管理施設の有効利用の観点から、各種大会や公演の実施及び支援を行いました。

指定管理部門

- 能登川コミュニティセンターでの生涯学習(文化・スポーツ)、人権、青少年育成、地域の諸事業、及び幾多の市民活動団体事務局として、また、やわらぎホール・やわらぎの郷公園の管理運営を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな事業が中止や延期に追い込まれました。そのため、いずれの部門でも不満足な形で年度を終えたことは残念でした。

令和3年度 事業計画

5年目となる「まちづくり計画」各種事業の進捗状況を精査し、さらに発展継続させると共に、自治会との連携を深めた地域課題の解消、個性を生かしたまちづくり等々、計画で提唱された「住みたい 住みよい 住み続けたい 水車のまち 能登川」の実現に向け、住民の皆さん、自治会、市民活動団体、行政と協働してまちづくりに取り組んでいきます。

とりわけ、地域福祉事業活動の推進には既存の団体との連携を図り注力していく所存です。

役員改選

役員改選を行いました。今年度の役員は下記の通りです。

(敬称略・順不同)

理事 (29名)	藤居正博(会長)、今堀 豊(副会長)、*中村三藏(副会長)、木下 勉(副会長)(能登川コミュニティセンター・やわらぎホール館長)、居原田善嗣(広報)、四方秀亮(まちづくり)、櫛田善春(まちづくり)、辻 英幸(まちづくり)、村林又藏(元能登川地区自治会連合会会長)、河村松男(元能登川地区自治会連合会会長)、北崎富三(会計)(能登川地区老人クラブ連合会会長)、*藤木利彦、*川南 壽、*森 孝志、*森野仁太郎、*坪田幸太郎、*大櫛 貢、*佐生喜太郎、*西村 守、*森野佐喜子、*井ノ口修、*福永繁和、*井ノ口一孝、北岡英美子(能登川地区文化協会顧問)、若林陽子(能登川赤十字奉仕団副委員長)、小松安希子(能登川地区子ども会指導者連絡協議会会長)、里田起明(能登川地区スポーツ協会理事)、川南義博(のとがわ福祉の会副会長)、宮居 伝(東近江市教育委員会教育研究所長)
監事 (2名)	清水秀男(前能登川地区自治会連合会会長) 脇 和彦(東近江市能登川支所長)

令和2年度 決算

単位：千円

項目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	5,582	5,430	152
指定管理部門	64,036	63,076	960
計	69,618	68,506	1,112

令和3年度 予算

単位：千円

項目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	5,926	6,206	△280
指定管理部門	66,383	66,383	0
計	72,309	72,589	△280

(注)*は、能登川地区自治会連合会役員(13名)

能登川のむかし話

【シリーズ23】

車夫に化けたカワウソ



垣見の村には、竹やぶがぎょうさんあってなあ。その間を川が流れ、美しい澄んだ水が道すれすれに流れてたんや。

その川には、むかしからカワウソが住んでいて、道を通る人に水をかけたり、川にひきずりこんだりすると、よういわれたもんや。

ある晩、本庄の人が家へ帰ろうとして、そこを通らばったんや。ほしたら、突然、人力車をひいた車夫が飛び出してきよったんや。その人は、

「これは、きつと、カワウソが化かしたにきよつたに違いない」と思う



と煙を吹きかけた。車夫はびっくりして「スウーッ」と消えて、

川へ「ドボン」と大きな音を立てて飛び込みよつたそうや。

「カワウソやキツネは、火や煙に弱いそうなど聞いていたが、やっぱりカワウソが化けたたんやなあ。やれやれ、これでもう出てこんやろ」と安心してると、また同じ姿で出てきよつたんや。そこで、またタバコの煙をふきかけると、車夫は水の中へ「ドボン」。しばらくすると、また現れるんや。

本庄の人は、そんなことをくり返すうち、だんだん気持ちが悪うなつてきて、近くの国領の家まで早う逃げようとするんやけど、手足が重とうなつて、思うように動けへんのや。ほれでも力をふりしぼって、国領の鍛冶屋さんの家までやつたことであたりついて、助けてもらわはったんや。

もう、汗びっしょりで生きたこちがせなんだそうや。その本庄の人は、一ヶ月位、寝こまはったんや。

それからしばらくの間、垣見の人は、夜の一人歩きは、あまりせんようになったいうこつちや。

出典：「能登川のむかし話」昭和55年能登川町教育委員会

「能登川のむかし話」を検証

～ 垣見町の川へ行ってきました～



垣見を流れる川は、湧き水豊かな清流です。そのため、きれいな水にしか自生しないという梅花藻が茂り、小さな白い花を咲かせていました。

小エビやサワガニ、ザリガニを見ることはできるそうですが、カワウソはいるのでしょうか。地元の人によると、子ども時代に川で遊んでいると「カワウソが出てくるから気をつけて」と言われたそうなので、昔は本当に住んでいたのかもしれませんが。

(広報部：K&I)



能登川コミュニティセンター

第63回 能登川地区文化祭

とき：11月6日(土)～7日(日) 主催：能登川地区文化祭実行委員会

芸能発表の部

- 日時：11月7日(日) 12:00頃から
- 場所：能登川コミュニティセンター ホール
- その他：出演料は無料です。お一人(団体)5分程度でお願いします。開催日までに打合せ・リハーサルに参加していただきます。

作品展示の部

- 開催日時：11月6日(土)～7日(日)
- 開催場所：能登川コミュニティセンター
- その他：出展料は無料です。展示スペースの都合により、大きすぎるものはお断りしたり、点数を減らしていただく場合があります。

あなたの歌や踊り、趣味の作品をこの機会に披露してみませんか？



申し込み期間：8月1日(日)～20日(金) (ただし8月13日(金)、14日(土)、15日(日)は休館)
受付時間 9:00～17:00 (土日祝も可 ※電話不可)
申し込み方法：能登川コミュニティセンター窓口にて申込書に必要事項をご記入いただき、お申し込みください。

地域のイベント

東近江市能登川アリーナ

～トップアスリートに学ぶ～
子どもスポーツ教室

時 9月26日(日) 10:00～12:00 無料

募 能登川地区小・中学生 50名(先着順)

主 能登川地区スポーツ協会
(事務局：コミセン)

TEL：0748-42-3200

I P：050-5801-3200

申 9月2日(木)～12日(日)

*詳細は、各学校へ配布するチラシをご覧ください。

第29回能登川ふれあいフェア2021

10月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

※記号の説明 時=日時 料=費用 募=募集
申=申し込み 問=お問い合わせ 主=主催